

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁キッズ中川		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベントごと(クリスマス、デイキャンプ、ハロウィン、夏祭り、毎月の誕生日など)には力を入れている。	恒例行事を、子どもたちも楽しみにしているのでその分職員達も前々から力を入れ、準備を念入りに行っている。前年度とやっていることを被らないようにしたり、その時の流行りのことを入れるなどして、全員が楽しめるようにしている。	特にハロウィンでは、他事業所も合同に行っている。事業所付近に、飲食店もあるのでそちらにもお願いし、地域交流をより増やす。
2	学校休業日の外出活動へ力を入れている。	基本的に学校休業日は、近場から遠出まで(車で1時間強ほどの距離まで)出かける。利用者に行きたい所のアンケートをとったりすることもあり、楽しみに来てくれる。暖かくなってきた頃からプールも取り入れている。外食活動も人気なので頻繁に取り入れている。	遠めの外出や、外遊びなどは保護者からのニーズも高いので、幅広い場所へ外出をしたい。社会勉強の一環として、バスや電車の公共交通機関を使った外出も増やしていきたい。時期によって利用者のブームもあるので、それに寄せた外出活動を取り入れる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の放課後だと来所が遅くなってしまいう日が多いので、公園遊びなど外に出ることがなかなかできない。	近隣の公園の数が少ない。来所時間がバラバラなため、職員の人数の都合上いけないことが多い。	学年が上がるにつれて、帰宅時間が遅くなることは仕方がないので平日は行けるタイミングがあれば、なるべく行くようにする。その分、室内が広いので、運動の活動を多く取り入れるようにしている。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		縁キッズ中川			公表日	2025年3月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	広さは十分にある。死角も少ない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		なるべく毎日同じ人数の職員がいるようにしているが、曜日によっては足りないと感じる日
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃、玩具は都度片付けるなどしている	窓掃除が全然できていないので汚いことが多い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンスペースの確保がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		参画はしているが、回数は少ない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎日の昼、夜のMT、月に一度の児童MT	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	月に1度相談役の方が、巡回チェックに訪れてくれている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	半年に1度の児発管の面談、毎日の送迎、提供記録、LINEで保護者と連携を取り作成	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	社員、パート全員が集まり児童MTを行い対象の児童について話し合いを行う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	意見が偏らないように職員全員で話し合いを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎日活動は変えている。同じ活動名でも内容は変更している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		なるべくやろうとするが、職員の数で出来ないこともある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日の昼礼で行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日終礼で行い、その日の反省、ヒヤリハットを出している。次の日の職員にも共有する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎日のスケジュール作り、提供記録の徹底	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	職員が決めすぎないように、いくつか選択肢を出すようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	毎日の送迎時にその日の様子を聞いたり、面談の様子を保護者から聞くこともある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		全く出来ていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	イベントの時にたまにあったり、近隣公園に遊びに行った際に一緒に遊ぶことがたまにある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	何かいつもと違うことがあれば必ず伝える、何気ない会話からもお互いに情報を共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		以前開催した時に、全く集まらなかったのがやらなくなりました。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	利用者ごとの対応の仕方、搬送先など研修を行い、共通認識を持っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギー対応なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	翌日の昼礼でも再確認すると、ヒヤリノートも作っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	社内研修を行った	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			